



南条つ子

南条つ子は 進んで学ぶ子
思いやりのある子
かっぱいやりぬく子

南条小学校 校長室だより
R1.7.1 No. 32

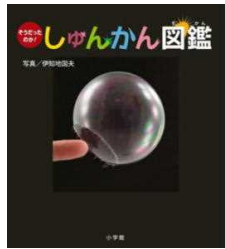
目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成



○ 3・4年生 ブックトーク

6月27日(木)・28日(金)に、南条図書館の司書さんに来ていただき、ブックトークを行いました。夏休み読書感想文の課題図書とおすすめの本を紹介していただきました。

<夏休み課題図書(中学年)>



『そうだったのか！しゅんかん図鑑』

写真:伊知地 国夫 出版社:小学館
瞬間の世界へようこそ！普段何気なく見ているものも、その一瞬を「ストップ！」。切りとってみると…？肉眼では見えないものが見えてくるから不思議です。実際に見えるものとはちがう現象だったり、見えていたはずが、実は残像だったり！この本は、1秒に何千ものコマで“一瞬”を切り取る「しゅんかん」写真家のわざの結晶です。

『子ぶたのトリュフ』

文:ヘレン・ピーターズ 絵:エリー・スノードン 出版社:さ・え・ら書房
お母さんぶたのおっぱいもすえなかった赤ちゃんぶたは、ジャスミンのけんめいな世話で命をとりとめる。そしてあらしの夜、かしこい子ぶたに成長したトリュフは、行方不明になったモルモットを、においをたよりに追いかける。農場を舞台にした、少女と子ぶたの心あたたまる物語。



『ハチごはん』

写真・文:横塚 眞己人 出版社:ほるぷ出版
岐阜県の郷土料理のひとつに、「へボの甘露煮」というものがあります。「へボ」とはこの地方の呼び名で、クロスズメバチという種類のハチです。ハチを食べると聞くとおどろくかもしれませんが、むかしから、日本各地や世界中で、虫は食べられてきました。日本の一部の地域では、今も、季節のごちそうとして虫を食べているのです。いったい、どんなふうに虫を食べているのでしょうか。

『かみさまにあいたい』

文:当原 珠樹 絵:酒井 以 出版社:ポプラ社
大好きなおばあちゃんにうそをついたまま、永遠の別れをむかえてしまった雄一。ひよんなことから、同級生の竜也といっしょに、「神さま」との交信を試みることになるが…。心の傷を抱えた少年たちのひみつの友情と成長の物語。



<夏休みおすすめ図書(中学年)>

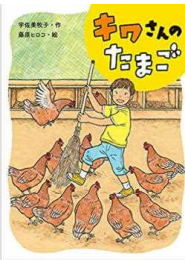


『コケシちゃん』

文:佐藤 まどか 絵:木村 いこ 出版社:フレーベル館
4年1組にも、スイスから体験入学生が来る!金髪かな?言葉通じるかな?ウキウキのマコちゃんと、ドキドキのわたし。でも、やってきたその子は日本人そのもので、まるでコケシみたい。なんでもはっきりという“コケシちゃん”は、わたしとちがすぎて…。

『なんでもただ会社』

文:ニコラ・ド・イルシング 絵:三原 紫野 出版社:日本標準
いたずらずきのティエリーは、パパとママが出かけているあいだに電話でいたずら。つながった相手は、ほしいものをなんでもただでくれる会社だった!ティエリーに起こった、信じられないようなドキドキ、ハラハラするふしぎな物語!



『キワさんのたまご』

文:宇佐美 牧子 絵:藤原 ヒロコ 出版社:ポプラ社
たいくつな夏休みを過ごしている、小学4年生のサトシ。サトシの両親は「弁当屋アサヒ」の仕事で忙しく、親友の颯太もサッカーで忙しい。しかし、養鶏を営むキワさんと出会い、とくべつおいしい「まぼろしのたまご」があることを知ったサトシは、なんとか手にいれようと夢中になる。両親のために、たまご焼き作りを計画するが、キワさんはなかなかたまごをゆずってくれない。キワさんのたまごをゆずってもらうには、ある条件があった。

○ 浄水場見学 4年生

6月28日(金)、あいにくの雨の天気でしたが、越前市大塩町にある浄水場を見学しました。4年生の社会科見学としては、消防署、清掃センターに続いて3回目になります。

水道水が作られるしくみとしては、まず、今庄地区にある榎谷ダムから日野川への放流水が南越前町八乙女の取水口から取水され、パイプラインを通過して、この浄水場まで送られてきます。送られてきた水は、この浄水場で、セラミック膜を使用した最新技術のろ過方式(膜ろ過)により、大腸菌やウイルスなどの細菌まで分離され、安心して飲める水道水になります。ここで作られた水が、わが町をはじめ越前市・鯖江市・福江市・越前町に届けられています。



榎谷ダム



八乙女取水口



沈砂池



膜ろ過装置



中央監視制御室

